

# 國學院大學學術情報リポジトリ

## 彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.57529/0002001099">https://doi.org/10.57529/0002001099</a>

# 彙報

令和二年度（所屬・役職は開催当時、敬称略）

▽研究開発推進センター研究事業（乃木神社の研究）

〈出張〉

・「乃木神社所蔵資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構  
構准教授）、半田竜介（研究開発推進機構助教）、令和  
三年三月五日（金）、東京都港区（乃木神社）

\*\*\*\*\*

令和三年度（所屬・役職は開催当時、敬称略）

▽研究開発推進センター会議

・第一回、令和三年四月七日（水）十二時二十分～十三時  
二十分、Zoomによるオンライン開催

・第二回、令和三年八月二十七日（金）十一時～十二時、  
Zoomによるオンライン開催

▽神社本庁総合研究所との協議

・「國學院大學研究開発推進機構と神社本庁総合研究所  
との研究協力に関する覚書」の手交、令和三年十一月

五日（金）、東京都渋谷区（神社本庁）

・研究協力に関する第一回協議、令和三年十二月二十四  
日（金）十六時～十七時、AMC棟五階会議室〇六

▽院友神職会との打ち合わせ

・「指定寄附金等、研究開発推進センター研究事業に関  
する院友神職会との打ち合わせ」、松本久史（神道文  
化学部教授・研究開発推進センター長）、宮本誉士  
（研究開発推進機構助教）、令和三年九月二十八日（火）、  
東京都渋谷区（明治神宮）

▽研究開発推進センター研究事業（乃木神社の研究）

〈出張〉

・「乃木神社御鎮座之記」第一回全体会議、宮本誉士  
（研究開発推進機構助教）、半田竜介（研究開発推進機  
構助教）、令和三年四月二十三日（金）、東京都港区  
（乃木神社）

・「乃木神社御鎮座之記」第二回全体会議、宮本誉士  
（研究開発推進機構助教）、半田竜介（研究開発推進機  
構助教）、令和三年七月三十日（金）、東京都港区（乃  
木神社）

- ・『乃木神社御鎮座之記』第三回全体会議、宮本誉士（研究開発推進機構教授）、半田竜介（研究開発推進機構助教）、令和三年九月二十四日（金）、東京都港区（乃木神社）
- ・『乃木神社御鎮座之記』第四回全体会議、宮本誉士（研究開発推進機構教授）、半田竜介（研究開発推進機構助教）、令和三年十月二十九日（金）、東京都港区（乃木神社）
- ・『乃木神社所蔵資料調査』、宮本誉士（研究開発推進機構教授）、半田竜介（研究開発推進機構助教）、令和三年十一月二十六日（金）、東京都港区（乃木神社）
- ・『乃木神社御鎮座之記』に関する乃木神社との会議、宮本誉士（研究開発推進機構教授）、半田竜介（研究開発推進機構助教）、令和三年十二月十日（金）、東京都港区（乃木神社）
- ・『乃木神社御鎮座之記』第五回全体会議、宮本誉士（研究開発推進機構教授）、半田竜介（研究開発推進機構助教）、令和三年十二月十七日（金）、東京都港区（乃木神社）

### ▽研究開発推進センター研究事業（伝統文化・神社・

地域と共存社会の研究）

〈共存・共生の思想〉令和三年度前期・各回水曜二限、録画配信で実施

- ・第一回、古沢広祐（研究開発推進機構客員教授）、菅浩二（神道文化学部教授）「コロナ危機にどう向き合おうか―岐路に立つ現代世界」、四月七日（水）
- ・第二回、菅浩二（神道文化学部教授）「エスニシティ・ナシヨナリズムと共存―日鮮同祖論と神社」、四月十四日（水）
- ・第三回、茂木栄（本学名誉教授）「日本人は如何に風土を意味づけてきたか」、四月二十一日（水）
- ・第四回、山本健太（経済学部教授）「伝統と文化の現代的諸相―西日本における神楽舞を事例に」、四月二十八日（水）
- ・第五回、黒澤直道（文学部教授）「中国のナシ族―急激な観光地化と「共存」、五月五日（水）
- ・第六回、松本久史（神道文化学部教授）「神話から見た古代日本の「共存」、五月十二日（水）
- ・第七回、宮本誉士（研究開発推進機構教授）「和歌から近代短歌へ―旧派」と「新派」の共存―、五月十九日（水）

- ・ 第八回、木村秀史（経済学部准教授）「アニメ経済と聖地巡礼―地域経済との共存―」、五月二十六日（水）
- ・ 第九回、加藤久子（東京外国語大学助教）、菅浩二（神道文化学部）「博物館から考える共存」、六月二日（水）
- ・ 第十回、ノルマン・ヘイヴンズ（研究開発推進機構客員教授）、菅浩二（神道文化学部教授）「文化多様性と共存の行方―欧米の動向をふまえて―」、六月九日（水）
- ・ 第十一回、菊田真司（法学部教授）「共存の政治的条件」、六月十六日（水）
- ・ 第十二回、佐藤俊輔（法学部専任講師）「ヨーロッパの移民統合から考える他者との共存」、六月二十三日（水）
- ・ 第十三回、黒崎浩行（神道文化学部教授）「都市生活における共存と神社の関わり」、六月三十日（水）
- ・ 第十四回、菅浩二（神道文化学部教授）「冥王星と宇宙葬」、七月七日（水）
- ・ 第十五回、古沢広祐（研究開発推進機構客員教授）、菅浩二（神道文化学部教授）「国連SDGs（持続可能な開発目標）への期待と課題」、七月十四日（水）

▽國學院大學二十一世紀研究教育計画委員会研究事業  
「渋谷の歴史・民俗・宗教に関する研究」

（シンポジウム）

- ・ 令和三年度オンライン渋谷学シンポジウム「東京渋谷を科学する―歴史・民俗・宗教から見た渋谷学の今後、そして可能性―」、第一部録画配信（YouTube）、令和三年十月二十八日（木）～十一月六日（土）、基調講演Ⅱ 上山和雄（研究開発推進機構客員教授）、報告Ⅱ 手塚雄太（文学部准教授）「歴史から見た渋谷」、報告Ⅱ 高久舞（帝京大学専任講師）「民俗から見た渋谷」、報告Ⅲ 秋野淳一（神道文化学部兼任講師）「宗教から見た渋谷」、コメントⅡ 橋元秀一（経済学部客員教授）、コメントⅡ 橋元秀一（経済学部客員教授）、第二部ライブ配信（Zoom）、挨拶Ⅱ 松本久史（研究開発推進センター長）、総合討議、司会Ⅱ 林和生（文学部教授）、令和三年十一月六日（土） 十七時～十八時二十分

▽「神道と日本文化の創造的「古典学」―令和の新しき国学研究―基盤整備事業」

〔「古典学」研究会〕

- ・ 第一回、令和三年六月二十三日（水） 十六時～十七時、

Zoomによるオンライン開催

〈「古典学」プロジェクト内部研究会〉

・令和三年十月六日（水）十六時～十七時、AMC棟五階プロジェクトルーム二、※以降、原則、毎週水曜日  
に開催

〈学術講演会〉

・南開大学・国際オンライン学術講演会（全球南開）云中  
讲堂「学術講座」『日本書紀』1300年の受容史、  
令和三年十二月十七日（金）十四時～十五時三十分、  
ハイブリッド講座（会場）外国語学院一〇教室）、  
講演者＝渡邊卓（研究開発推進機構准教授）、主催＝  
南開大学外国語学院東アジア文化研究センター

▽「地域マネジメント研究センター」設置準備事業  
〈フォーラム〉

・「第二回「観光まちづくり」フォーラム」持続可能な  
地域の実現に向けて」第一部、主催者挨拶＝佐柳  
正三（本学理事長）、針本正行（本学学長）、来賓挨拶  
＝久保田穰（公益社団法人日本観光振興協会理事長）、  
新学部概要説明＝西村幸夫（新学部設置準備室教授、  
観光まちづくり学部長就任予定）、第二部、シンポジ  
ウム「私たちの考える観光まちづくり」、セッション

〈研究会〉

一「由布院の百年計画」＝桑野和泉（株式会社玉の湯  
代表取締役社長、一般社団法人由布市まちづくり観  
光局代表理事）、米田誠司（新学部設置準備室教授）、  
セッション二「谷中 HAGISO」＝宮崎晃吉（一級  
建築士、株式会社HAGI STUDIO代表取締役、  
一般社団法人日本まちやど協会代表理事）、椎原晶子  
（新学部設置準備室教授）、セッション三「自分らしさ  
が観光資源——住民参加の観光地域振興——」＝江崎貴久  
（有限会社菊乃代表取締役、有限会社オズ代表取締役、  
鳥羽市エコツーリズム推進協議会会長）、下村彰男  
（新学部設置準備室教授）、パネルディスカッション、  
コーディネーター＝西村幸夫、仲野潤一（新学部設置  
準備室専任講師）、パネリスト＝桑野和泉、宮崎晃吉、  
江崎貴久、令和三年十一月八日（月）十五時～十八時、  
常磐松ホール、Zoomウェビナーによる配信

・第一回「観光まちづくり」カフェ「神道とまちづくり」、  
講演＝下村彰男（新学部設置準備室教授）「まちと神  
社」、講演＝平藤喜久子（神道文化学部教授）「神話学  
と神道文化」、パネルディスカッション「神社と地域  
のくらし」、コーディネーター＝下村彰男、パネリス  
ト＝平藤喜久子、尾近裕幸（経済学部教授）、小林稔

(新学部設置準備室教授)、令和三年七月七日(水)  
 十八時～二十一時、常磐松ホール

・第二回「観光まちづくり」カフェ「神棲むムラの観光  
 まちづくりとこれから」、講演Ⅱ飯干淳志(株式会社  
 高千穂ムラたび代表取締役)、パネルデイスカッション、  
 コーディネーターⅡ南雲勝志(新学部設置準備室  
 教授)、パネリストⅡ飯干淳志、米田誠司(新学部設  
 置準備室教授)、髙和雄(新学部設置準備室准教授)、  
 令和三年十月六日(水)十七時～二十時、たまプラー  
 ザキャンパス若木21ヒルトップ

〈出張〉

・「高山市丹生川地区共同研究調査及び高山市との包括  
 地域連携協定締結に向けての打ち合わせ」、西村幸夫、  
 下村彰男、梅川智也、楓千里、米田誠司(以上新学部  
 設置準備室教授)、令和三年七月十六日(金)～十八  
 日(日)、岐阜県高山市(市役所市長室、丹生川市区  
 支所他)

▽成果公開

〈刊行物〉

・『ブックレット渋谷学 03』令和四年二月  
 ・『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』第十六

号、令和四年三月  
 ・機関誌『観光まちづくり』創刊号、令和三年十一月

